

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 平成 18 年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

平成 17 年度北海道農業試験会議（成績会議）において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、当場が担当または分担した提出課題（農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く）は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

－優良品種候補－

○小麦新品種候補「北見春 67 号」（北見農試、中央農試作物研究部畑作科）

－奨励技術－

○催芽時食酢処理による水稻の褐条病防除対策（生産環境部予察科、上川農試）

(2) 普及推進事項

－優良品種候補－

○だいち新品種候補「中育 52 号」（作物研究部畑作科、生産研究部水田・転作科）

－推進技術－

○鉄付着防止暗渠土管の閉塞軽減効果（環境保全部農業環境科）

○水稻品種「大地の星」の安定多収栽培法（生産研究部水田・転作科、基盤研究部農産品質科、技術体系化チーム、上川農試栽培環境科）

○たまねぎ有機農業の導入による経営安定化方策（生産研究部経営科）

○デオキシニバレノール（DON）に対応した小麦の調製法と貯蔵中における DON の消長（生産研究部機械科・生産環境部病虫科）

○デオキシニバレノール汚染に対応した春まき小麦の赤かび病に対する薬剤防除対策（生産環境部病虫科）

○成型ポット苗移植栽培におけるタマネギ乾腐病の多発要因と土壌・肥培管理による防除対策（生産環境部病虫科・栽培環境科・北見農試）

○ SSR マーカーを利用した小豆・菜豆の品種判別（基

盤研究部遺伝子工学科、遺伝資源部資源利用科、資源貯蔵科、（独）農業生物資源研究所）

(3) 指導参考事項

○水稻の有機栽培における生産安定化技術（生産研究部機械科、水田・転作科、環境保全部クリーン農業科等）

○有機栽培野菜畑の窒素肥沃度指標の選定とその簡易分析法（環境保全部土壌生態科、上川農試）

○水稻品種「ななつぼし」における胴切粒（くびれ粒）発生要因の解析（生産研究部水田・転作科）

○水稻有機栽培における生産安定化技術（生産研究部水田・転作科、機械科等）

○不耕起乾田直播栽培の栽培事例と安定化に向けた技術改善（上川農試栽培環境科、生産研究部水田・転作科、経営科）

○道央水田転換畑における秋まき小麦「ホクシン」の大豆畦間ばらまき栽培法（作物研究部畑作科、生産研究部水田・転作科）

○水稻に対する石灰系下水汚泥コンポストの施用効果（生産研究部水田・転作科）

○平成 18 年度水稻関係除草剤使用基準（生産研究部水田・転作科、上川農試栽培環境科、道南農試作物科）

○道央地帯における冷凍米飯用「大地の星」と春まき小麦の初冬まき栽培を取り入れた経営モデル（技術体系化チーム）

○修学旅行生を対象とした農家民宿の効果と組織化方策（生産研究部経営科）

○畑作条件不利地における農業生産法人の設立誘導手法（生産研究部経営科）

○作型拡大による収益改善に向けた小玉・中玉すいかの栽培技術（原子力環境センター農業研究科・生産研究部経営科）

○豆類の損傷粒発生要因の解明と小豆の吸水性向上技術（生産研究部機械科）

○平成 18 年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫（病害虫防除所、生産環境部予察科・病虫科、環境保全部クリーン農業科、上川農試、道南農試、十勝農試、北見農試花・野菜技術センター、技術普及課、北海道農業研究センター）

○道央水田転換畑における秋まき小麦「ホクシン」の大豆畦間ばらまき栽培法（作物研究部畑作科）

○だったんそば「北海 T8 号」の安定栽培法（作物研究部畑作科、基盤研究部農産品質科、上川農試）

○りんごの品種特性（作物研究部果樹科）

○新資材（畑作物・果樹除草剤及び生育調節剤）の実用化（作物研究部畑作科等）

○道央地帯における冷凍米飯用「大地の星」と春まき小麦の初冬まき栽培を取り入れた経営モデル（技術体系化チーム）

(4) 研究参考事項

○りんどうの胚珠培養法（基盤研究部細胞育種科、ながぬま農業協同組合）

○春まき小麦の半数体倍加系統作出の効率化（基盤研究部遺伝子工学科、細胞育種科）

○野菜に発生する病原ウイルスの遺伝子解析と診断技術（基盤研究部遺伝子工学科）

○小豆の抗酸化成分による生理調節機能の解析（基盤研究部農産品質科）

○かぼちゃ遺伝資源の特性情報（遺伝資源部資源貯蔵科）

(5) 行政参考事項

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

環境保全部

○兼平修，奥山七郎．ツメクサガの発育と産卵．北海道立農試集報．90，p.21-28 (2006)

○加藤俊介，高濱雅幹．ハイドランジア・アナベルのグリーン化と開花調節技術．北海道立農試集報．90，p.47-50 (2006)

○中津智史，東田修司．簡易耕が畑土壌および畑作物の生育収量に及ぼす影響．北農．73，p.134-141 (2006)

○中津智史，松永浩，沢口敦史．北海道十勝地域におけるコムギ子実品質の実態．日本作物学会紀事．75(4)，p.487-491 (2006)

○中津智史，佐藤康司，佐藤仁，神野裕信．秋まきコムギ品種キタノカオリにおける低アミロコムギの発生要因．日本作物学会紀事．76(1)，p.79-85 (2007)

○北川巖，横井義雄．カラマツ木材チップの暗きょ疎水材としての適用性．農業土木学会論文集．243，p.41-46 (2006)

○北川巖，竹内晴信，横井義雄．トレンチャ掘削式

穿孔暗渠の耐久性と適用条件．農業土木学会論文集．243，p.73-78 (2006)

○北川巖，竹内晴信．切断掘削式無材暗渠「カッティングドレーン工法」による排水改良技術．平成 17 年度新しい研究成果－北海道地域－北海道農業試験研究推進会議．p.104-111 (2006)

○北川巖，竹内晴信，中津敬太．学会賞を受賞して「泥流地帯における暗きょ排水管閉塞対策技術」．農業土木学会誌．47(11)，p.69-70 (2006)

○北川巖．圃場の総合的な排水改良技術の確立に関する研究．北海道立農試報告．113，p.1-82 (2007)

基盤研究部

○McGovern, R. J., Horita, H., Stiles, C. M. and Seijo, T. E. Host range of *Itersonilia perplexans* and management of *Itersonilia* petal blight of China aster. *Plant Health Progress (Online Journal)*. doi:10.1094/PHP-2006-1018-02-RS, (2006)

○小松勉，松澤光弘，堀田治邦．糖蜜還元消毒と抵抗性台木によるトマト青枯病の防除効果．北日本病害虫研報．57，p.38-41 (2006)

○小松勉，松澤光弘，堀田治邦．深耕還元消毒と抵抗性台木によるトマト青枯病の防除効果．北日本病害虫研報．57，p.42-46 (2006)

○坂森敏宣，地子立，植野玲一郎，中野雅章，目黒孝司．ハウス立茎および露地普通栽培におけるグリーンアスパラガス若茎の Brix 値とアスコルビン酸含量．北海道立農試集報．90，p.55-59 (2006)

○佐々木純，竹内徹．北海道におけるピーマンの抵抗性品種（L³/L⁺型）を侵すトウガラシマイルドモットルウイルス（PMMoV）系統の出現．北日本病害虫研報．57，p.56-57 (2006)

○堀田治邦．カリフラワー品種間における軟腐病の発生差異．北日本病害虫研報．57，p.47-48 (2006)

○三澤知央，竹内徹．ブドウ根頭がんしゅ病菌北海道分離株の PCR 法による検出．北日本病害虫研報．57，p.82-85 (2006)

企画情報室

○Ferdous, S. A., Watanabe, S., Suzuki-Orihara, C., Tanaka, Y., Kamiya, M., Yamanaka, N., and Harada, K. QTL Analysis of Resistance to Soybean cyst Nematode Race 3 in Soybean cultivar Toyomusume. *Breeding*

Science. 56, p.155-163 (2006)

○Ferdous, S. A., Watanabe, S., Suzuki-Orihara, C., Tanaka, Y., Kamiya, M., Xia, Z., Yamanaka, N., and Harada, K. Conversion of AFLP Markers Surrounding a QTL, rhg-t1, for Soybean Cyst Nematode Resistance into PCR-based Markers. *Breeding Science*. 56, p.195-199 (2006)

○白井裕一, 足立静香, 紙谷元一, 中島寿亀, 山元義久, 鈴木忠直, 安井明美. タマネギの品種識別用 DNA マーカーの開発. *日本食品科学工学会誌*. 53, p.498-504 (2006)

○白井裕一, 足立静香, 紙谷元一, 中島寿亀, 山元義久, 鈴木忠直, 安井明美. 統計的手法を用いた DNA マーカーによるタマネギの品種識別. *日本食品科学工学会誌*. 53, p.505-513 (2006)

○安積大治, 林哲央, 志賀弘行. 衛星観測 NDVI による秋まき小麦子実タンパク含有率地図の作成手法. *システム農学*. 22, p.89-98 (2006)

○松本武彦, 木村義彰, 高橋圭二, 寶示戸雅之. シートを用いて被覆した牛ふんの堆肥化 過程における肥料成分の挙動. *日本土壤肥料科学雑誌*. 77, p.395-400 (2006)

○松本武彦, 寶示戸雅之. チモシー単播草地に表面施用した乳牛堆肥の窒素無機化率を考慮した肥効評価. *日本土壤肥料科学雑誌*. 77, p.407-412 (2006)

○松中照夫, 三枝俊哉, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦 周. ふん尿 利用計画支援ソフト「AMAFE2006」の概要—環境に配慮したふん尿の有効利用のために—. *農業及園芸*. 81, p.909-917 (2006)

作物研究部

○Ferdous, S. A., Watanabe, S., Suzuki-Orihara, C., Tanaka, Y., Kamiya, M., Yamanaka, N., and Harada, K. QTL Analysis of Resistance to Soybean cyst Nematode Race 3 in Soybean cultivar Toyomusume. *Breeding Science*. 56, p.155-163 (2006)

○Ferdous, S. A., Watanabe, S., Suzuki-Orihara, C., Tanaka, Y., Kamiya, M., Xia, Z., Yamanaka, N., and Harada, K. Conversion of AFLP Markers Surrounding a QTL, rhg-t1, for Soybean Cyst Nematode Resistance into PCR-based Markers. *Breeding Science*. 56, p.195-199 (2006)

○三浦理恵, 上野宗一郎, 佐藤立博, 江良聡, 佐鳥新, 神野裕信, 佐藤導謙, 杉川陽一, 石村康生, 福島充, 三橋龍一. ハイパースペクトルカメラの農業分野への応用. *北海道工業大学研究紀要*. 34, 245-249 (2006)

○品田裕二, 前塚研二, 飯田修三, 土屋俊雄. 十勝におけるてん菜の生産性変動要因解析. *北農*. 73, p 231-239 (2006)

○江部成彦, 品田裕二, 小池寿, 高田法幸, 村田吉平, 奥山昌隆. 十勝地方における金時類の多収要因解析. *北農*. 73, p 240-245 (2006)

生産研究部

○後藤英次, 野村美智子, 稲津脩. 寒地水稲における施肥法別の窒素利用率と各器官への分配率が白米タンパク質含有量に及ぼす影響. *日本作物学会紀事*. 75 (4), p.451-458 (2006)

○後藤英次, 野村美智子, 稲津脩. 寒地水稲に対する時期別追肥窒素の利用率と各器官への分配. *日本作物学会紀事*. 75 (4), 443-450 (2006)

○平石学. 大規模畑作経営における休閑緑肥定着への営農条件に関する考察. *農業経営研究*. 44 (2), p.46-51 (2006)

○白井康裕. 集出荷コスト削減に向けた物流ABC分析の活用法. *農業経営研究*. 44 (1), p.132-137 (2006)

○白井康裕. 生産管理場面における数量化理論の適用. *農業経営研究*. 44 (2), p.12-18 (2006)

○白井康裕, 岡田直樹. 大規模水田作経営の現状からみた組織対応の有効性—北海道長沼町を事例に—. *2006年度日本農業経済学会論文集*. p.9-16 (2006)

○白井康裕, 後藤英次, 田中一生, 田中英彦. マーケティングの視点から見た道産酒米の進行方策. *北海道立農業試験場集報*. 90, p.13-20 (2006)

○原圭祐, 木村義彰, 石井耕太. トラクタ搭載型センサを用いた窒素可変追肥による秋まき小麦の圃場内生育変動の軽減. *平成 17 年度 新しい研究成果—北海道地域—*. p.8-11 (2006)

○桃野寛, 酪農業;機械化を中心とした試験研究概要. *農業機械学会誌*. 68 (5), p.19-23 (2006)

○稲野一郎, 桃野寛, 鈴木剛, 有田敬俊. 直播てんさいの出芽率向上に関する研究 (第 1 報). *農業機械学会誌*. 68 (6), p.75-82 (2006)

○高濱雅幹, 藤倉潤治, 藤田寿雄, 高宮泰宏, 堀田治邦, 加藤俊介, 桃野寛, 兼平修, 田丸誠. リンドウの育苗法と施肥法の改善、および半促成作型の導入効果. 北海道立農業試験場集報. 90, p71-75.(2006)

生産環境部

○岩崎暁生. 北海道の露地栽培ネギにおけるネギアザミウマの防除体系ー被害許容水準・薬剤残効性に対応した防除ー. 植物防疫. 60, p.158-164, 1pl (2006)

○三澤知央, 中住晴彦, 新村昭憲. もみがら採苗法によるイチゴ疫病菌の苗への感染回避. 北日本病害虫研究会報. 57, p.60-61 (2006)

○萩田孝志. 北海道におけるプルーン炭疽病の発生. 北日本病害虫研究会報. 57, p.78-81 (2006)

○岩崎暁生, 三宅規文, 武澤友二. 北海道におけるマレーゼトラップによるタネバエ成虫の捕獲消長と卵巣発達推移による発生世代数の推定. 北日本病害虫研究会報. 57, p.145-147 (2006)

○藤根統, 小野寺政行, 角野晶大. 2003～2005年の北海道・道北地域におけるタマネギ乾腐病発生実態ータマネギ乾腐病菌による土壌と苗の汚染が病害発生に及ぼす影響ー. 北日本病害虫研究会報. 57, p.26-29 (2006)

○小野寺政行, 中本洋. たい肥と各種有機質肥料を用いた露地野菜の無化学肥料栽培法とその圃場適性評価. 北農. 74(1), p.27-34 (2007)

○小野寺政行・中本洋. たい肥と各種有機質肥料を用いた露地野菜の無化学肥料栽培法とその圃場適性評価. 平成 17 年度新しい研究成果ー北海道地域ー. 北海道農業試験研究推進会議. p.112-115 (2006)

技術普及部

○Yoshino, N., Wang, G., Ito, M., Auld, B., Kohara, H., and Enomoto, T. Naturalization and dissemination of two sub of *Lindernia dubia*(Scrophulariaceae) in Japan. *Weed Biology and Management*. 6, p.174-176 (2006).

○古原洋. スルホニルウレア系除草剤抵抗性イヌホタルイの発見と生態的特性に基づく防除方法の確立. 北海道立農試報告. 111, p.1-46 (2006).

(2) 口頭発表

環境保全部

○中津智史, 佐藤康司, 佐藤仁, 神野裕信. 秋まき小麦「キタノカオリ」の低アミロ耐性. 第11回穂発芽シンポジウム (2006.7.7)

○中津智史. 北海道農業と硝酸性窒素汚染問題. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集. p.40-41 (2006)

○北川巖, 竹内晴信, 松岡祐司, 北野均. 暗渠排水用土管の素材改善による鉄付着防止技術. 第55回農業土木学会北海道支部研究発表会講演要旨集. p.54-59 (2006)

○末久美由紀, 北川巖. 農業サイドの取り組み「植生帯が浅層地下水中の硝酸性窒素濃度に及ぼす影響」. 平成 18 年度美々川自然再生合同 (美々川・ウトナイ湖・樹林帯) ワーキング資料集 (2007)

○末久美由紀, 中津智史, 中本洋, 北川巖. 植生帯が浅層地下水中の硝酸性窒素濃度に及ぼす影響. 第55回農業土木学会北海道支部研究発表会講演集. p98-103 (2006)

○橋本均. 土壌観察用テキストの作成. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 52, p.200 (2006)

○青木元彦. ハウス立茎栽培におけるジュウシホシクビナガハムシの被害と幼虫期防除の効果. 第60回北日本病害虫研究発表会. (2007)

○橋本庸三, 齊藤美樹. アカヒゲホソミドリカスミカメに対する水面施用剤の残効期間(1)ポット試験. 第60回北日本病害虫研究発表会. (2007)

○齊藤美樹, 橋本庸三. アカヒゲホソミドリカスミカメに対する水面施用剤の残効期間(2)水田網柵試験. 第60回北日本病害虫研究発表会. (2007)

○中辻敏朗, 中本洋. 北海道におけるセルリーの肥培管理実態と圃場の窒素収支. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 52, p.134 (2006)

○櫻井道彦, 鈴木克昌, 小野寺政行, 信濃卓郎, 大崎満. 根圏土壌のプロテアーゼ活性とその生成細菌群集に及ぼす有機物施用の影響. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 52, p.38 (2006)

○櫻井道彦, 富沢ゆい子, 和崎淳, 信濃卓郎, 大崎満. 有機物施用圃場におけるアルカリホスファターゼ活性とその生成細菌群集の解析. 日本土壌肥料学会北海道支部秋季大会講演要旨集. p.5 (2006)

基盤研究部

○内堀篤, 佐々木純, 竹内徹, 紙谷元一, 田澤暁子,

犬飼剛, 増田税. インドネシアのダイズ品種 Wilis におけるダイズわい化病抵抗性の QTL 解析. 日本植物病理学会報. 73(1), p.79 (2007)

○佐々木純. ユリのウイルス病. 第 8 回植物ウイルス病研究会講演要旨. p.11-19 (2006)

○佐々木純, 竹内徹, 池田信, 源田佳克, 佐藤京子. L⁴ 遺伝子を打破するトウガラシマイルドモットルウイルス (PMMoV) の新病原型 P_{1,2,3,4} の出現. 日本植物病理学会報. 72(4), p.299 (2006)

○鈴木孝子, 佐藤導謙, 吉村康弘, 竹内徹. 北海道小麦品種における DNA マーカーを利用したピュロインドリン、グルテニン、Wx 遺伝子タイプの解析. 日本育種学会・作物学会北海道談話会報. 47, p.89-90(2006)

○相馬ちひろ, 奥村理, 島田尚典, 加藤淳, 長谷川尚輝. 小豆ポリフェノール高含有遺伝資源の探索. 日本食品科学工学会北海道支部大会講演要旨. p.5 (2007)

○竹内徹. 豆類の DNA 品種判別技術の開発. 農林水産物の DNA 鑑定の現状と展望. 講演要旨. p.7 (2006)

○竹内徹, 古田和義, 佐々木純. イチゴモットルウイルス (SMoV) の CP 領域の解析. 日本植物病理学会報. 72(4), p.254 (2006)

○武田藍, 鈴木孝子, 竹内徹, 藤田正平, 島田尚典, 加賀秋人, 伊勢村武久, 友岡憲彦, Duncan Vaughan, 近藤則夫. アズキ落葉病抵抗性遺伝子の座乗連鎖群の決定. 日本植物病理学会報. 73(1), p.78 (2007)

○古田和義, 佐々木純, 竹内徹. RT-LAMP によるイチゴモットルウイルス (SMoV) の検出. 日本植物病理学会報. 72(4), p.254 (2006)

○堀田治邦. ゴボウ黒条病(病原菌 *Iterosonilia perplexans*) の発生生態と防除. 第 9 回植物病害生態研究会レポート第5号. p.1-8 (2006)

○相馬ちひろ. 光センサーによるながいもの品質測定技術. 第 5 回北海道食品産業総合展(ポスター発表、札幌市). (2006.10.13 ~ 14)

○相馬ちひろ. 小豆の生理調節機能の解析. 平成 19 年農業新技術発表会(ポスター発表、札幌市). (2007.2.15)

遺伝資源部

○山下陽子, 田澤暁子, 南忠. ダイズ茎疫病の既知 10 レースに抵抗性を持たない品種・系統の圃場における発病差異. 日本育種・作物学会北海道談話会会報.

47, p.121-122 (2006)

○木内均. ブータンにおける稲の遺伝資源収集. 北海道ブータン協会 12 月例会 (2006.12.9)

企画情報室

○山元義久, 臼井祐一, 紙谷元一, 中島寿亀, 玉木克知, 足立静香. DNA マーカーによる他殖性作物の品種判別における統計的手法の適用. 園芸学雑誌. 75(別1), p.255(2006)

○保木健宏, 木原誠, 岡田吉弘, 浅山聡, 斉藤涉, 金谷良市, 高橋進, 林勝弘, 伊藤一敏. オオムギの第 5 染色体長腕部末端に座乗する QTL の効果検証 1. 北海道ビール麦系譜系統における麦芽品質及び休眠性と 5 H QTL との関連. 育種学研究. 9(別1), p.187 (2007)

○木原誠, 保木健宏, 岡田吉弘, 浅山聡, 斉藤涉, 金谷良市, 林勝弘, 伊藤一敏. オオムギの第 5 染色体長腕部末端に座乗する QTL の効果検証 2. 北海道ビール麦系譜系統における麦芽中酵素活性と 5 H QTL との関連. 育種学研究. 9(別1), p.188 (2007)

○吉村康弘, 柳沢朗, 中道浩司, 小林聡, 西村努, 池永充伸, 佐藤奈奈, 谷藤健. 製粉性およびめん色に優れる秋まきコムギ新品種「きたほなみ」の育成. 育種学研究. 9(別1), p.54 (2007)

○清野伸孝, 丹羽勝久, 福原道一, 安積大治, 西宗昭. SPOT データによる玉ねぎ畑の特徴抽出と面積集計. システム農学会 2006 年度秋季シンポジウム・一般研究発表会要旨集 第 14 回天敵利用研究会講演要旨. p.52-53 (2006)

○松中照夫, 三枝俊哉, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦周. 環境に配慮した酪農のためのふん尿利用計画支援ソフト AMAFE, その 1. 「AMAFE2006」の概要と演算論理. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 52, p.136 (2006)

○三枝俊哉, 松中照夫, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦周. 環境に配慮した酪農のためのふん尿利用計画支援ソフト AMAFE, その 2. 「AMAFE2006」の現地導入効果. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 52, p.136 (2006)

○甲田裕幸, 木場稔信, 松本武彦, 三枝俊哉, 實示戸雅之, 三木直倫. 根釧地方のチモシー単播草地における養分収支のライシメーターによる推定. 日本土壌肥料学会北海道支部会 (2006)

作物開発部

- 谷藤健, 鈴木千賀, 三好智明, 田中義則, 白井滋久. 高イソフラボン大豆品種十育 241 号の特性. 日本作物学会紀事. 75(別1), p.102-103 (2006)
- 船附秀行, 羽鹿牧太, 山田哲也, 辻博之, 田中義則, 木村義彰, 萩原誠司, 湯澤正明, 篠崎敦, 石本政男, 藤野介延. ダイズの裂莢性に関する QTL 解析. 日本作物学会紀事. 75(別2), p.238-239 (2006)
- 三好智明, 鴻坂扶美子, 田澤暁子, 田中義則. WILIS 由来のダイズわい化病抵抗性系統の評価と選抜法. 日本育種学会・作物学会北海道談話会報. 47, p.119-120 (2006)
- 田中義則. 北海道におけるダイズ育種研究の課題. 北海道試験研究推進会議生物工学部会. (2007.2.7)
- 田中義則, 飯田修三, 水越亨. ダイズシストセンチュウの簡易レース診断法 (予報). 北日本病害虫研究発表会. (2007.2.8)
- 千田峰生, 岡田みずほ, 高橋完, 大西志全, 湯本節三, 田中義則, 高田吉丈, 高田法, 葛西宏介, 葛西厚史. I から i への突然変異に由来するダイズ種皮着色変異体における I 遺伝子候補領域の構造変異. 育種学研究. 9(別1), p.215 (2007)
- 田中義則. 北海道におけるダイズ育種研究の課題. 平成18年北海道農業試験研究推進会議生物工学部会. (2007.2.7)

生産研究部

- 梶原靖久, 平山裕治, 田中一生, 田中英彦, 清水博之, 岩間和人. 北海道で育成された水稲低タンパク質系統における窒素の吸収と分配特性. 日本育種学会・作物学会北海道談話会報. 47, p.33-34 (2006)
- 塚本康貴, 神野裕信, 竹内晴信. 道央台地圃場における土壌水分環境が小麦生育に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会北海道支部秋季大会要旨. p.5 (2006)
- 白井康裕. 技術評価場面における生産費計算の有用性—水稲有機農業の技術開発場面を例に—. 日本農業経営学会研究大会. p.11-14 (2006)
- 濱村寿史. 上川中部における土地利用型経営の経営戦略からみた直播の意義と課題. 北海道農業経済学会. (2007.3.3)
- 原圭祐, 木村義彰, 石井耕太. 窒素可変追肥が小麦の収量および子実蛋白含有率に与える影響. 農業

環境工学関連学会2006年合同大会. (2006)

○木村義彰, 田中文夫, 原圭祐, 白井康裕, 石井耕太. 蒸気消毒機を用いた土壌消毒効果. 農業環境工学関連学会2006年合同大会. (2006)

生産環境部

- 新村昭憲. 土壌還元消毒—防除効果と経済性の評価—. EBC 研究会誌. 2, p.25-29 (2006)
- 白井佳代, 新村昭憲, 竹内徹, 三輪千華, 植松清次. *Phytophthora* sp.によるイチゴ疫病の発生 (病原追加). 平成 18 年度日本植物病理学会大会プログラム・講演要旨予稿集. p.45 (2006)
- 岩崎暁生, 三宅規文, 武澤友二, 水越亨, 上堀孝之, 岩泉連. ナモグリバエの黄色水盤捕獲消長からみた北海道への長距離飛来の可能性. 2006 年度日本応用動物昆虫学会・日本昆虫学会共催支部大会講演要旨集. p.4 (2007)
- 岩崎暁生, 三宅規文, 武澤友二, 水越亨, 上堀孝之, 岩泉連. 北海道で発生するナモグリバエは春季の飛来個体群に由来する. 第 51 回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集. p.14 (2007)
- 角野晶大, 池田 信, 柿崎由紀, 成松靖, 松本勇, 田中穰. イチゴ葉縁退緑病の北海道での発生. 日本植物病理学会報. 73, p.76 (2007)
- 相馬潤. コムギの外観健全粒におけるデオキシニバレノール汚染と *Fusarium graminearum* 分離率の熟期別推移. 北日本病害虫研究会報. 57, p.217 (2006)
- 相馬潤. 北海道の春播コムギで発生する *Fusarium graminearum* (種複合体) の分子系統種と毒素タイプの分布. 北日本病害虫研究会報. 57, p.218 (2006)
- 相馬潤, 白井佳代. 北海道のイネ残渣から分離した *Fusarium graminearum*-complex の種構成について. 日本植物病理学会報. 72, p.225 (2006)
- 相馬潤. コムギの外観健全粒からの *Fusarium graminearum* 分離率に対する薬剤散布の影響. 日本植物病理学会報. 73, p.74 (2007)

(3) 専門雑誌記事

環境保全部

○中津智史. なるほど新技術「低アミロ化の注意が必要な秋まき小麦キタノカオリ」. ニューカンントリー.

633, p.58-59 (2006)

○北川巖. 広範囲の土壌において、低コストで排水改良が可能な「カッティングドレーン工法」. ニューカントリー 5月号. 626, p.64-65 (2006)

○北川巖. 「暗きょ排水」と「土層改良」を組み合わせる技術が必要. ニューカントリー 10月号. 631, p.19-21 (2006)

○北川巖. 広範囲の土壌で低コストに施工できる効果的な排水改良「カッティングドレーン工法」. 農家の友 10月号. p.81-82 (2006)

○北川 巖. 酸化鉄で詰まらない新機能暗渠土管「鉄菌番」で排水改良の負担軽減. 農家の友 2月号. p.62-63 (2007)

○北川 巖. 鉄酸化細菌繁殖による暗渠排水の機能低下と技術対策(その1) 自然界の鉄・イオウと鉄酸化細菌の関係.セラミック暗きょ研究(8). p.1-10 (2006)

○橋本庸三. 生物農薬防除に関する研究動向. 農家の友. 58(7), p.24-25 (2006)

○橋本庸三. 生物農薬を使いこなす、使い方のコツを知ろう! 殺虫剤編. ニューカントリー. 54(3), p.22-25 (2007)

○中辻敏朗. 北海道のクリーン農業を支える「北海道施肥ガイド」と「北のクリーン農産物表示制度」. 圃場と土壌. 448・449, p.11-17 (2006)

○中辻敏朗. 作物にとって土壌とは. ニューカントリー. 635, p.32-33 (2007)

○櫻井道彦. 道立農試の有機農業研究—平成17年度の結果報告— 根圏微生物研究の最前線~プロテアーゼを中心に~. 北海道有機農研. 67, p.5-6 (2007)

基盤研究部

○阿部珠代. ハウス栽培におけるニラの窒素施肥法改善. ニューカントリー. 627, p.66-67 (2006)

○奥村理. 高品質な小麦の生産・流通には α -アミラーゼ活性の測定が重要. ニューカントリー. 632, p.64-65 (2006)

○奥村 理. 小麦のおいしさはどう決まるの?. ニューカントリー. 633. p.48-49 (2006)

○佐々木純, 鈴木孝子. 生物工学セミナー(66). 北農. 73, p.331(2006).

○相馬ちひろ. ながいもの品質を非破壊で瞬時に測定が可能に. ニューカントリー. 634. p.78-79 (2007)

○相馬ちひろ. 光センサーによるナガイモ品質(乾物率・ねばり)測定技術. 農耕と園芸 3月号. p.68-70 (2007)

○竹内徹, 平井泰. 生物工学セミナー(65). 北農. 73, p.272(2006).

○竹内徹, 堀田治邦. 生物工学セミナー(67). 北農. 74, p.101(2007).

○玉掛秀人. 球根生産性に優れる花ユリ新品種「細育4号」と「細育12号」. ニューカントリー. 628, p.66-67 (2006).

○玉掛秀人, 樋浦里志. 生物工学セミナー(64). 北農. 73, p.207 (2006)

○玉掛秀人, 樋浦里志. 花ゆり新品種「細育4号」. 北農. 73, p.166 (2006)

○玉掛秀人, 樋浦里志. 花ゆり新品種「細育12号」. 北農. 73, p.167 (2006)

○堀田治邦. カリフラワーの肥培管理・病害虫防除の指針. ニューカントリー. 633, p.54-55 (2006)

○堀田治邦. ニンジンの病害. 農薬グラフ. 172, p.2-5 (2006)

企画情報室

○紙谷元一. 北海道産たまねぎのDNA品種判別技術. グリーンテクノ情報. 2(3), p.5-8 (2007)

○谷藤健. 大豆のおいしさと栄養「ポイントは「味と食感のバランス」». ニューカントリー. 631, p.86-87 (2006)

○松中照夫, 三枝俊哉, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦周. パソコンで楽々ふん尿利用計画. 酪農ジャーナル. 6月号, p.23-25 (2006)

○三枝俊哉, 松中照夫, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦周. パソコンによる糞尿利用計画—複雑な作業を支援する「AMAFE2006」の概要. デーリイマン. 56(9), p.48-49 (2006)

○松中照夫, 三枝俊哉, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦周. 環境に配慮したふん尿利用計画をパソコンで一意志決定支援ソフト「AMAFE2006」の概要—. 牧草と園芸. 54(4), p.1-6 (2006)

○松中照夫, 三枝俊哉, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦周. 循環型酪農をめざしたふん尿利用計画支援ソフト. 農家の友. 2月号, p.74-76 (2007)

作物研究部

- 品田裕二. 小麦作柄調査の概要と今後の技術対策について. 北海道米麦改良. 第27号 (2006.7)
- 田中義則. 普及の著しい新品種 大豆「ユキホマレ」. グリーンテクノ情報. Vol.2 (2), p.23-26 (2006)
- 田中義則. 特集—所得最大の畑作—小麦・大豆. ニューカントリー. 8月号, p.19-21 (2006)
- 神野裕信. 道央・道北における秋まき小麦栽培のポイント. 北海道米麦改良. 第28号, (2006)
- 稲川裕. 西洋なし「ブランデーワイン」の着果管理技術. ニューカントリー. 628, p.56-57 (2006)
- 内田哲嗣. 果樹の摘花・摘果の目安と方法. 花新聞. 148, p.23 (2006.6.4)
- 内田哲嗣. 果樹の夏期剪定. 花新聞. 151, p.19 (2006.7.23)
- 内田哲嗣. りんごわい性台木の品種特性. ニューカントリー. 635, p.66-67 (2007)

生産研究部

- 金子剛. 農産物のインターネット販売のポイント. ニューカントリー. 617, p.84 (2006)
- 金子剛. 小学生の米作り農業体験学習の効果と受け入れマニュアル. 農家の友. 684, p.104-105 (2006)
- 金子剛, 須田達也, 田中一生, 渡辺祐二. 小学生を対象とした米作り農業体験学習の効果と受け入れマニュアルの作成. 北農. 73(4), p.14-19 (2006)
- 白井康裕. 水稻有機農業の経済的成立条件の解明. 農家の友. 58(5), p.40-41 (2006)
- 白井康裕. 酒造業者のニーズに基づく酒米の品質改善指針. 農家の友. 58(6), p.64-65 (2006)
- 白井康裕. 経営に新規野菜をプラス—稲作地帯—. ニューカントリー. 53(5), p.16-18 (2006)
- 白井康裕. 水稻有機農業の経済的成立条件. ニューカントリー. 54(3), p.66-67 (2007)
- 白井康裕. 集出荷コスト削減に向けた物流ABC分析の活用法. 農耕と園芸. 61(9), p.178-181 (2006)
- 白井康裕. 集出荷コスト削減に向けた物流ABC分析の活用法. 農業および園芸. 81(12), p.1281-1285 (2006)
- 白井康裕. 道立農試の有機農業研究—平成16年度の結果報告—経営・農産. 有機農研. 64, p.4-5 (2006)
- 白井康裕. 道立農試の有機農業研究—平成17年度の結果報告—経営・農産. 有機農研. 67, p.7-8 (2007)
- 白井康裕. 農業試験場における「マーケティング」活

動. あぐりさろん21. Vol35, p.3 (2007)

- 原圭祐. 高品質で生育ムラを少なくする小麦に対する窒素可変施肥技術. 農家の友. 58(7), p.28-29 (2006)
- 木村義彰. 蒸気消毒における蒸気消毒機の利用指針. ニューカントリー. 2006. 9月号
- 木村義彰. 平成19年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良協会. (2007.2)
- 桃野寛. 特集/農業機械研究開発の最前線、期待される緊急開発作業機の活用. 農家の友. 7, p.20-21 (2006)
- 田中一生. 第三の北海道酒造好適米・水稻新品種「彗星」. 農家の友. 5月号, p.38-39 (2006)
- 塚本康貴. 排水不良を克服しよう. ニューカントリー. 631, p.22-24 (2006)

生産環境部

- 北海道病害虫防除所. 平成17年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫. 北農. 73, p.171-182 (2006)
- 白井佳代. お湯を使って種初消毒—水稻の温湯種子消毒の普及と留意点—. 農家の友. 58(11), p.38-40 (2006)
- 新村昭憲. 見直そう雪腐病防除. 農家の友. 58(11), p.72-73 (2006)
- 北海道病害虫防除所予察科. 平成18年度に北海道で新たに発生を認めた病害虫. 農家の友. 59(3), p.4-7 (2007)
- 田中文夫. 技術特集. 生物農薬を使いこなす・減農薬栽培で増す存在感. ニューカントリー. 636, p.18-20 (2007)
- 角野晶大. 大豆・小豆の種子伝染性細菌病に対する防除対策. 農家の友. 58(4), p.72-73 (2006)
- 角野晶大. 生物農薬を使いこなす. 使い方のコツを知ろう!—殺菌剤編—. ニューカントリー. 636, p.26-29 (2007)
- 小野寺政行. 露地野菜に対するクリーン農業技術—減化学肥料栽培技術—. 圃場と土壌. 38(11・12), p.40-46 (2006)
- 小野寺政行. 有機物だけを用いた野菜の無化学肥料栽培. ニューカントリー. 53(5), p.66-67 (2006)
- 小野寺政行. 露地野菜畑の有機物重点利用栽培導入に対する圃場適性区分. ニューカントリー. 53(8), p.56-57 (2006)
- 小野寺政行. 適正な肥培管理・土づくりのための圃場適性区分. あぐりぼーと. 64, p.2-3 (2006)
- 小野寺政行. 道立農試の有機農業研究—平成17年度

の結果報告—有機物だけを用いた野菜の無化学肥料栽培技術. 北海道有機農研. 65, p.6-7 (2006)

○小野寺政行. 道立農試の有機農業研究—平成 17 年度の結果報告—露地野菜畑における有機物重点利用栽培導入のための圃場適性区分. 北海道有機農研. 66, p.6-7 (2006)

○宮森康雄. 生産情報に基づいた水稻の窒素施肥設計法. 農家の友. 58 (8), p.38-39 (2006)

技術普及部

○古原洋. 平成 18 年技術総括 特集Ⅱ水稻. 農家の友. 688, p.36-38 (2006)

○三部一敬, 小田代勉, 黄倉良二, 野中重夫, 古原洋, 徳永善也. 特集/座談会 もう「北海道米なんて」とは言わせない. 農家の友. 689, p.20-31 (2007)

○川口招宏. 平成 18 年技術総括. 野菜・果菜類. 農家の友. p.42-43 (2006.12).

○川口招宏. 野菜品種データ—ニューカントリー 2006 秋季増刊号. p.118-120, 147-149 (2006.12)

○乙部裕一. 圃場の準備を始めましょう. 北海道米麦改良. 10月号 No. 540, p.1-3 (2006)

○池田信. 病害虫防除対策のポイント. 北海道米麦改良. 第24号, p.4-7 (2006.3)

○池田信. 雪腐病防除で良質小麦の安定確収を. 北海道米麦改良. 第31号, p.1-4 (2006.10)

○古原洋. 冷害防止技術の徹底を. 北海道米麦改良. 53 8, p.1-4 (2006)

(4) 著編書資料

環境保全部

○木曾誠二 (監編集). やさしい施肥管理の手引き—野菜・花き編— (2 訂版). 北海道立中央農業試験場監修. ホクレン発行. 2007. p.1-225.

○木曾誠二 (監修). 北海道農業を支える土づくりパートⅢ “草地の土づくり”. 土づくり技術情報「草地編」. 北海道農政部監修. 北海道農協「土づくり」運動推進本部発行. 2007. p.1-60.

○中本洋. やさしい施肥管理の手引き—野菜・花き編—. ホクレン農業協同組合連合会肥料農薬部. p.101-121 (2007)

○中辻敏朗. 道北地方の典型的なハイドロカタナ.” 土壌を愛し、土壌を守る—日本の土壌, ペドロロジー学会 50 年の集大成—. 日本ペドロロジー学会編. 博友社, 2007.

p.93-95.

○富沢ゆい子. 2-6) ほうれんそう.” やさしい施肥管理の手引き—野菜・花き編—. ホクレン. 同発行, 2007.

p.73-77.

○富沢ゆい子. 5-2) レタス.” やさしい施肥管理の手引き—野菜・花き編—. ホクレン. 同発行, 2007.

p.143-146.

○富沢ゆい子. 5-3) セルリー.” やさしい施肥管理の手引き—野菜・花き編—. ホクレン. 同発行, 2007.

p.147-150.

基盤研究部

○阿部珠代. 野菜品種データ 北海道向けラインアップ. ニューカントリー秋季臨時増刊号 (分担執筆). 2006. p.94-95

○阿部珠代. やさしい施肥管理の手引—野菜・花き編— 2 訂版 (分担執筆). ホクレン. 2007. p.78-93

企画情報室

○紙谷元一. 北海道産タマネギのDNA増幅パターン解析. 先端技術を活用した農林水産高度化事業「タマネギ産地判別法の開発」(平成 15～17 年度) 研究成果資料集. 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所. 2007. p.134-167.

○松本武彦. 家畜ふん尿の基本情報, 草地の土づくり, 土づくり技術情報「草地編」監修. 2007. p.16-27

作物研究部

○前野眞司. エゾシカの保全と管理. 第9章 農作物の食害指標を得るために. 北海道大学出版会. 2006. p.99-100.

○稲川裕. VII果樹. 平成 16 年台風 18 号による農業被害解析と対応技術に関する調査報告書. 有村利治・井原澄男編. 北海道立中央農業試験場, 2006. p.63-81. (北海道立農業試験場資料第 36 号).

○稲川裕. I 風害. 果樹農業の達人マニュアル—災害に強い園地づくり編—. 北海道果樹協会編. 同発行, 2007. p.1-8.

生産研究部

○田中一生, 平山裕治, 金子剛. 「平成 19 年度版 お米の話」・「平成 19 年度版 お米の話 先生用マニュアル」・「バケツ稲づくり 指導書 (先生用)». 北海道米販売協

大委員会・北海道農業組合中央会. 2007.

○金子剛. アグリビジネス繁盛点の法則 (概要版). 北海道農政部食品政策課. 2006. p.21-25.

○金子剛. アグリビジネス繁盛点の法則 (農家調査報告書). 北海道農政部食品政策課. 2006. p.1-53.

○金子剛. いただきます! ほっかいどう~北海道の食べものと農業のはなし~. 北海道農政部食品政策課. 2005. p.24-25.

○金子剛. 新たな周遊観光ルート形成のための調査報告書. 北海道農政部農村設計課. 2006. p.15-40, 56-63, 113-131.

○田中一生・平山祐治・金子剛. バケツ稲作り指導書(先生用). J A北海道中央会. 2007. p.1-24.

○平石学. 農業経営学術用語辞典. 農林統計協会. 2005. p33-41.

生産環境部

○中尾弘志. 野菜の病害虫防除 果菜類Ⅱ(イチゴ・メロン・スイカ). 上路雅子監修, 全国農業改良普及支援協会. 2006. p175

○小野寺政行. やさしい施肥管理の手引ー野菜・花き編ー. ホクレン. 2007. p49-72.

技術普及部

○池田信. 病害虫の防除対策. 平成 19 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良 (平成 18 年度資料第 5 号). 2006. p.63-97.

○池田信. 小麦の害虫と防除法. 北海道の小麦づくり. 北海道米麦改良 (平成 18 年度資料第 1 号). 2006. p.137-148.

○池田信. 豆類の病害虫. 明日の豆作り. (財) 日本豆類基金協会 (平成 19 年豆作り講習会テキスト). 2006. p.95-119

○古原洋. 平成 19 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良協会. p.29-46(2007).

○乙部裕一. VI良食味米を目指した土壌管理、施肥技術. 平成 18 年度資料第 5 号 平成 19 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良協会. 2007. p.99-121.

○乙部裕一. 第 4 章高品質生産に向けた栽培技術 7 施肥量と根粒菌. 明日の豆作り. 日本豆類基金協会. 2006. p81-85.

(5) 新聞等記事

環境保全部

○北川巖. 新しい排水改良技術「カッティングドレーン工法」の開発. 共済新聞. (2006.11.29)

○中辻敏朗. 有機物だけを使って野菜を作る. 農業共済新聞. (2006.5.3)

作物開発部

○神野裕信. 春まき小麦の初冬播き栽培. 農業共済新聞 (2006.10.11)

生産研究部

○田中一生. 「急激に生産量を伸ばすお米「ななつぼし」の謎を探る». 北のごはん倶楽部 (ホクレン). (2006.8)

○田中一生. ここ 2~3 年で北海道の日本酒が美味しくなりました. おとなのいい旅北海道 (リクルート北海道じゃらん). p.44-45 (2006-7 冬号)

○田中一生. 特集: 風土が醸す酒造り. GREEN グリーン No229 (ホクレン), p.2-3 (2007.1)

○田中一生. 「ななつぼし」がおいしい理由、お米のルーツを探る. ごはん大陸 (ホクレン・北海道米販売拡大委員会). p.9-10 (2007)

○塚本康貴. 水田の透排水性改善に向けて. 農業共済新聞. (2006.9.13).

○木村義彰. 蒸気消毒機の特性と利用上の留意点. 農業共済新聞原稿 2007.2 月第一週号

生産環境部

○岩崎暁生. 2006 年 この病害虫に注意. 農業共済新聞. (2006.4.5)

○白井佳代. 水稻の温湯種子消毒ーその特徴と留意点ー. 農業共済新聞. (2007.2.14)

技術普及部

○飯田修三. 2006 年道農業の検証 (麦作・中央). 日本農業新聞. 1 月(2007).

○飯田修三. 2006 年道農業の検証 (大豆). 日本農業新聞. 1 月(2007).

○池田信. 今後の水稻病害虫防除のポイント、農業共済新聞「北海道営農技術版」6 月 1 週号 (2006).

○請川博基. 哺育・育成管理の見直しで経営の効率化を. 農業共済新聞「北海道営農技術版」. (2006. 7. 4 週号).

○請川博基. 経営と技術 道農業の検証 乳牛・乳成分. 日本農業新聞. (2007.1.25).

○古原洋. 経営と技術 道農業の検証 稲作・道央. 日

本農業新聞. (2006.12.26).

○川口招宏. 2006 年道農業・検証 (野菜・果菜類) 日

本農業新聞. (2007.1).